

## 1 保護者及び教職員対象学校評価アンケート結果より

### (1) 保護者の評価結果より

- ① 昨年度より評価点（4点満点の平均）が上回った項目が20項目あり、下回った項目が1項目であった。昨年度と同じ評価点となった項目は1項目あった。
- ② 昨年度より評価点が下回った項目は20番「園バス位置情報サービス」の1項目であり、評価点が3.6を下回ったのは令和2年度以降初めてである。
- ③ 昨年度より評価点が0.10以上上回った項目は「園の方針・保育の内容」4項目、6番「園生活での指導」11番「情報の公開」14番「教職員の対応」であった。
- ④ 昨年度は評価点が3.50に届かなかった項目が8項目あったが、全ての項目において評価点が3.50以上となった。

### (2) 教職員の評価結果より

- ① 昨年度よりも上回った項目が17項目、下回った項目が4項目であった。
- ② 昨年度より評価点が下回った項目は、3番「研修を保育に生かす」5番「園児の返事・挨拶の習慣化」13番「環境整備」の4項目であった。
- ③ 昨年度評価点が3.30を下回った3項目は今回3.30を上回ったが、3番「研修を保育に生かす」が3.30に留まった。
- ④ 評価点が3.70を上回っている項目が11項目あり、特に、「教職員の規律性・信頼性」の2項目、「情報の伝達・公開」2項目の評価点が高まった。

### (3) 保護者、教職員の両者の評価より

- ① 昨年度同様評価点が高い数値であったのは、7番の「交通教室、避難訓練の実施」、8番「戸外遊びの推進」、〔教職員の対応〕〔教職員の規律性、信頼性〕、22番「預かり保育の受け入れ」である。
- ② 4番「園児の登園意欲」の評価点は、両者とも昨年度は一昨年度よりも下回っていたが、今回は両者とも昨年度を上回った。

## 2 成果と課題、次年度に向けて

### (1) 成果と課題

- 保護者の評価点が前年度を上回っている項目が20/22となり、本園が課題として改善に向けて取り組んできたことを評価していただいたと言える。
- 〔本園の方針・保育の内容〕4項目について、この3か年、保護者の評価点が徐々に上がってきたことは本園の保育について保護者に一定の理解をいただけたと捉えている。今後も保育の質向上に向けて継続して取り組んでいく。
- △保護者の学校評価アンケートの回収率が、R5年度93.2%、R6年度91.5%、R7年度89.2%と徐々に下がってきている。評価結果が次年度の保育の質向上に向けてポイントを絞る機会となることをご理解いただけるよう広報していく。

### (2) 次年度に向けて

- ・引き続き保育の質向上に向けた教職員の研修を進め、研修したことを日々の保育に生かす意識を高める。また、そうすることで園児の登園意欲を一層高めたい。
- ・昨年度よりも評価点が上回っていても「あまりできていない2・できていない1」の割合が高かった食育推進、環境整備、情報の伝達については今後も具体的な方策を練り、改善に努める。